

現大崎幼稚園舎を

お借りすることになりました。



現大崎幼稚園舎を コミュニティスペースに

4月より大崎幼稚園が新しい園舎にお引越しをします。それに伴い現在の園舎は幼稚園としての役目を終えることになりました。そこで、私たちの取り組みに賛同してくださった園長先生の計らいにより、その園舎を私たち地域おこし協力隊が使っていただくことになりました。

この場所をどの様な場所にするかを考えたときに、以前から『気軽に人が集まれる場所を作りたい』と話していた私たちは、この場所をコミュニティスペースにしようと考えています。しかし、ただ漠然と「コミュニティスペースを作りましたので皆さん来てください」と言っても誰も集まらないう。う。

『人を集めることは簡単ではない。』そのことはこの一年間で痛感しました。そこで今回は、私たちが何を考え、どういった目的・ビジョンでコミュニティスペースを作るのかをお話しさせていただきます。

コミュニティスペースとは なんであろうか

まずは、コミュニティスペース

という言葉の意味について紹介します。コミュニティスペースという言葉は『コミュニティ』と『スペース』という単語が組み合わさってできています。それぞれの意味を調べてみると『コミュニティ』と

は【同じ共通点を持った人間の集まり】のことで、『スペース』とは【空間・場所】という意味です。つまりコミュニティスペースとは

【同じ共通点を持った人たちが集まるための場所】ということになります。ここでいう同じ共通点には、住んでいる場所などから生まれる『地縁型』と、趣味・教育・環境・福祉といった共通のテーマに興味を持つ人たちのつながりから生まれる『テーマ型』の2種類があります。

私たちはこのテーマ型コミュニティが自由に使える場所を作ろうと考えています。

例えば、音楽好きの人が集まり楽器を練習したり、サッカー好きが集まってサッカー観戦会を計画したり、レザークラフトが得意な人が教室を開いたり、料理上手な人が日替わりでカフェを運営してみたり……。地域おこし協力隊の河瀬は、放課後の子どもたちの自主学習教室をする予定です。

そんな共通のテーマを通じて交

流が生まれ、新しい活動が始まっていくようなコミュニティスペースをつくっていききたいです。

幼稚園の教室を予約制の リーススペースとして活用

基本的には、教室を予約制のリーススペースとして活用していく予定です。この場所で活動したくなるような工夫をしていこうと思っています。

例えば、「活動を広報するためにはチラシやSNSで発信をしたいがどうすればいいのかわからない」という場合であれば、私、山本がチラシやポスター作りのお手伝いをします。

また、『活動のたびに費用がかかる』『発表の場が少なくモチベーションが上がらない』『メンバーを募る場所がない』などの課題を解決できるように、『施設の使用料は低く設定』『定期的にイベントを開催し発表の場をつくる』『利用者が集まるラウンジを作り、掲示板を設置』『施設の情報発信を頻繁に行う』など工夫します。

こうした課題を解決しつつ、他の団体と知り合ったり、協力して新しい活動が展開できるようにしたりするキッカケづくりができる場所にしたいと考えています。